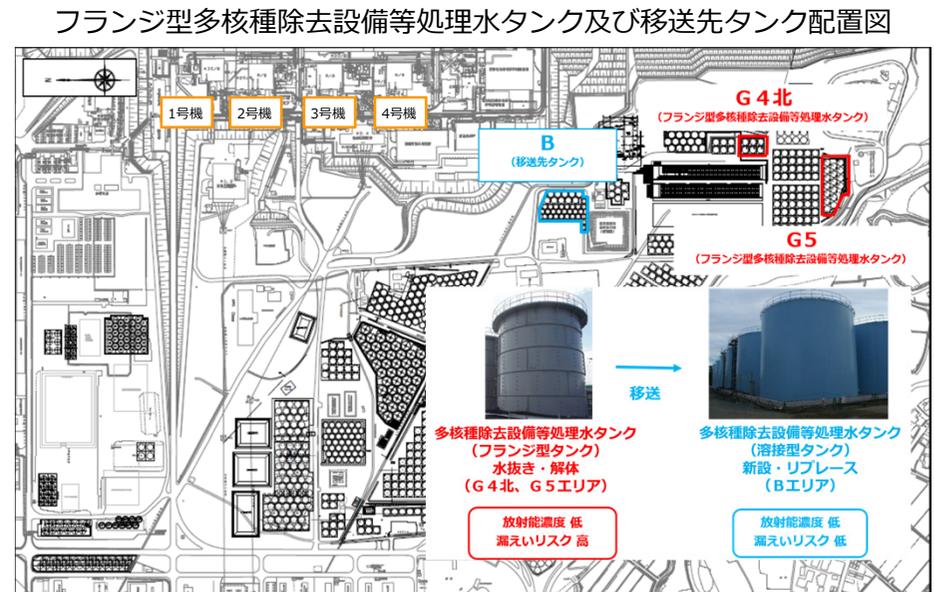
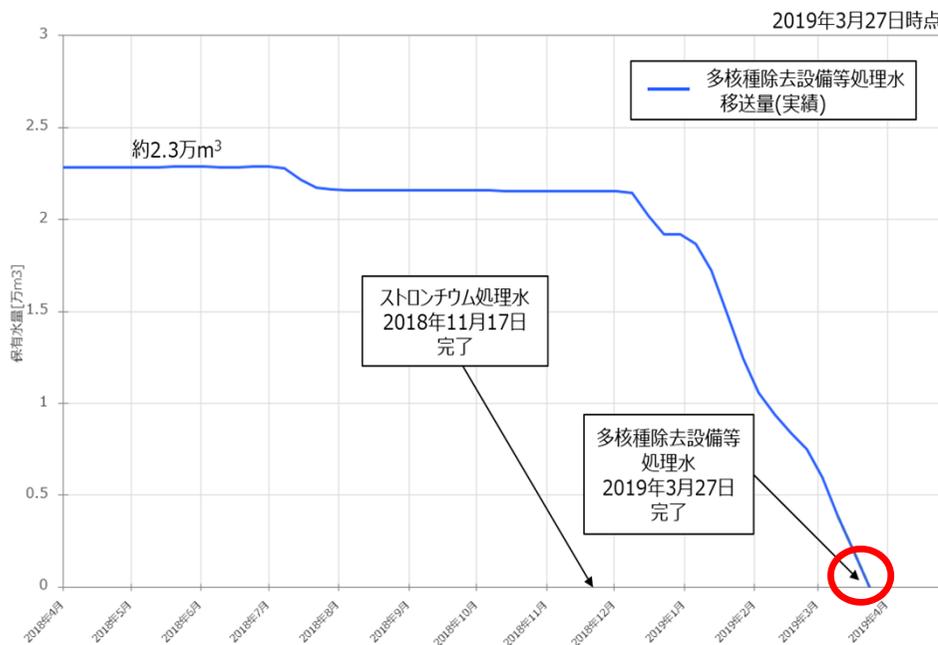


福島第一原子力発電所 フランジ型タンクに貯留している多核種除去設備等処理水の移送完了について

< 参 考 資 料 >
 2019年3月27日
 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー

- フランジ型タンクに貯留している多核種除去設備等処理水については、より信頼性の高い溶接型タンクへの移送を実施してきましたが、この度、2019年3月27日に移送を完了^{※1}しました。
- これにより、フランジ型タンクからの漏えいリスクが低減され、より安定した管理ができます。
- また、上記完了をもって、中長期ロードマップにおけるマイルストーン「2018年度内に浄化設備等により浄化処理した水の貯水を全て溶接型タンクで実施」を達成しています。
 (フランジ型タンク内のストロンチウム処理水の浄化処理は、2018年11月17日に完了。)
- なお、フランジ型タンク^{※2}に貯留している淡水は2019年5月頃を目途に溶接型タンクへ移送予定です。



※1 タンク底部の残水(約1,500m³)を除く。

※2 当該フランジ型タンクは、底板及び第一段までの側板の補修は実施済みです。